

四国・水こぼれ話

Water Information Saloon Shikoku

談話室 Vol. 76

剣山と吉野川のはざままで

徳島県 つるぎ町長

かねにし しげる
兼西 茂



つるぎ町は、平成 17 年 3 月 1 日に貞光町、半田町、一宇村の 3 町村が合併し誕生しました。徳島県西部、名峰剣山の北側に位置する人口 1 万 2 千人弱の小さな町ですが、豊かな自然と人情味あふれる人々が自慢の町です。

町内を南北に流れる半田川と貞光川流域には源流近くまで集落や田畑が形成され、その清流は、上水道や農業用水はもちろん町の特産品である「半田そうめん」の製造に欠くことのできない貴重な水源として利用されています。また流域には県指定天然記念物の「土釜」や「鳴滝」「土々呂の滝」などの名瀑も数多くあり、町を代表する観光資源として活用されています。「土釜」手前の国道 438 号線沿いには「土釜の岩清水」が岩盤の割れ目からしみだしています。ミネラルを多く含んだ名水として最近評判を呼び、毎日多くの人が採水に訪れています。

町の北側を流れる清流吉野川沿いには、河川敷運動公園「貞光ゆうゆうパーク」を整備し、公園内のパークゴルフ場やサッカーグラウンドは住民の憩いの場、健康づくりの場として、もはやなくてはならない施設となっています。今後はその周

辺をさらに整備拡張し、じかに水と親しむことのできる公園づくりを進めています。町では、その少し下流の吉野川北岸に工業団地を造成し、その豊富な伏流水を活用して企業誘致を積極的に行ってきました。現在、製造業を中心に 7 つの企業が操業中であり、町の大きな雇用の場として地域の活性化に貢献しています。

このように私たちがふだん何気なく接している河川は、はかり知れない恩恵を与えてくれますが、ひとたび増水すれば、それは大きな脅威となり私たちの生活を脅かします。平成 16 年と 17 年に発生した台風では、記録的な豪雨による河川の氾濫で多数の民家や工場、町営住宅などが浸水し甚大な被害を受けました。その復旧工事は現在も続いています。

今後も本町の活かすべき特性である豊かな自然を守るため、町ぐるみで河川環境の保全に努めるとともに、自然災害への備えを怠らないよう治水対策を一層推進し、誰もが「将来にわたって住み続けたいまち」と思えるような町づくりを進めていきます。



徳島県指定天然記念物「土釜」



つるぎ町名水 土釜の岩清水



災害復旧工事